



諦めたら負けだ

1972年、  
沖縄返還の舞台裏で  
何が起きていたのか。



# 返還交渉人

いつか、沖縄を取り戻す

井浦新 戸田菜穂

尾美としのり 中島歩 みのすけ チャールズ・グラバー 吉田妙子 平良進 津波信一  
佐野史郎 大杉漣 石橋蓮司

脚本: 西園琢也 音楽: 大友良英 詞り: 仲代達矢 原案: 宮川徹志「僕は沖縄を取り戻したい 異色の外交官・千葉一夫」(岩波書店刊) [www.henkan-movie.com](http://www.henkan-movie.com)

プロデューサー: 西脇順一郎 監督: 柳川強 資料提供: 那覇出版社、那覇市歴史博物館、沖縄県公文書館 制作・著作: NHK 配給: 太秦 2018年 100分 DCP 16:9 日本 ©NHK G 級



米軍の“理不尽な占領”と闘い続けた実在の外交官 知られざる真実の物語

「虚・ホント　マコト　あぶ  
」の狭間に真実を焙り出す」のが戯映画の作法だが  
が、「狂気」の歴史を見据えつつ、そこに明日の穏やかな  
日日を手繕り寄せようと願うなら、権力よりも弱者の極みたる  
個人の「正気」を信じ、称え、伝えゆくしかない。柳川  
監督の「哲理」に寄り添い結束したチーム総員が、奇蹟  
を生んだ。「平和」なるこの世の大嘘が、心のマコトとして  
信じ得る。**さあ皆、映画と一体化して、「人間」を  
誇り、「勇気」を持とう!**

大林宣彦

映画作家

「理想を追い求めずに何が外交か」。異色の外交官千葉とその妻の「沖縄を取り戻す」という情熱と信念を貫いた人生を前に、「正義とは何か」と改めて自らに問いかける。誰もが、自国の歴史の中を生きているのだ。

増田ユリヤ

ジャーナリスト

沖縄返還に奔走する外交官・千葉を演じた井浦新が美しい。大きな力に押しつぶされながらも、信念と理想を貫き通す外交官・千葉の姿にシビれる。**こういう男はもういない。映画の中だけでも出会っておいた方がいいと思う。**

大石静

脚本家

おこる戦勝国、米国にとって従順ならざる日本人が、白洲次郎以外にもここに居たのである。**これは特に政  
官界人達必見の映画である。**演出も俳優陣も素晴らしい。

美輪明宏

歌手 俳優 演出家

千葉は沖縄返還交渉の詳細な記録を残していた。これらの公文書からは、外務省が米国と厳しいやり取りを重ねていた様子がよくわかる。昨今の公文書改ざん問題もあり、**千葉の歴史に対する責任感の強さに頭の下がる思いである。**

中島琢磨

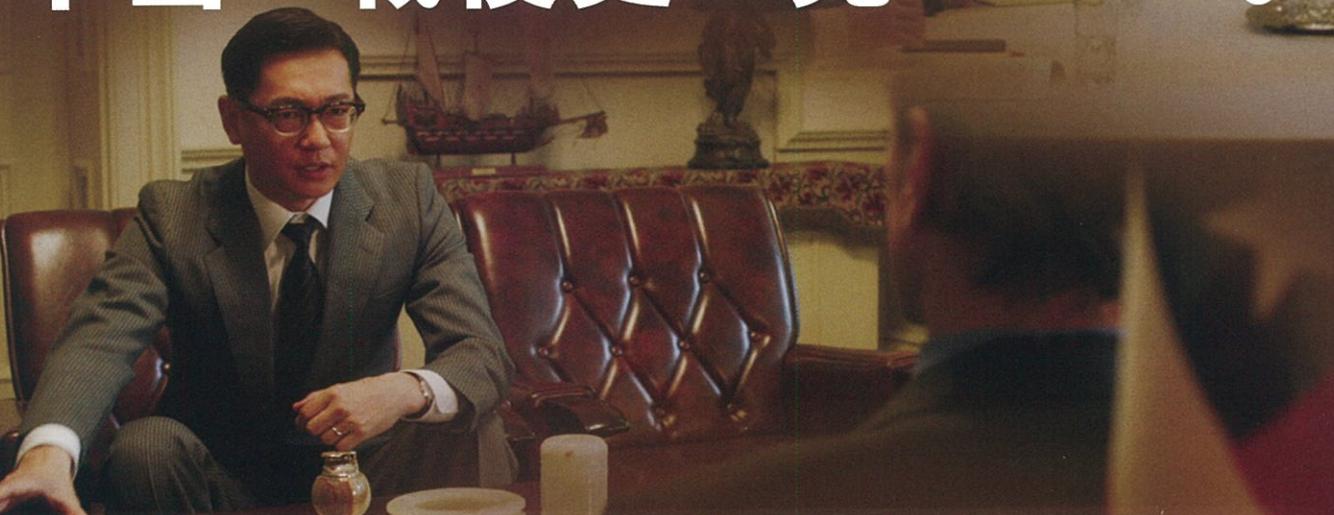
「沖縄返還と日米安保体制」著者  
龍谷大学法学部教授

この男がいなかつたら、沖縄はどうなっていたのか!  
**一人の外交官のまっすぐな情熱が歴史を動かしていることを初めて知りました。**支える妻の凛とした美しさにも心を打たれました。これぞ昭和の夫婦愛!

中園ミホ

脚本家

沖縄に人生をかけた  
男の生き様を知れば、  
本当の戦後史が見えてくる。



沖縄の辺野古に基地が新しく造られようとする今、この映画の登場は大きな希望の光を与えてくれる。

「いつか、沖縄を取り戻す」を心に秘め沖縄返還交渉にあたった外交官が日本に実在した！驚きと感動の映画だ。

## 鳥越俊太郎

ジャーナリスト

生前、大田昌秀元沖縄県知事は私の取材にこう語った。「日本本土の国益の名において、沖縄は絶えずモノ扱いされ、政治的取引に利用され続けてきました。そしてこの映画は伝える。米国のみならず日本政府とも聞った外交官が本土にいたことを。

## 堀潤

ジャーナリスト

立派な外交官がいたのですね。「諦めたら負けだ」との彼の言葉に勇気づけられます。それにも、俳優・井浦 新さんの見事なこと！映画にしてくれた西脇順一郎プロデューサーと柳川 強監督に拍手を贈りたいです。

## 木内みどり

俳優

沖縄返還の舞台裏に、もう一人の「白洲次郎」がいた！プリンシップを譲らず、アメリカに対峙した外交官を井浦新が熱演。歴史の渦の中で、貫かれた志。この映画は、傑作にして衝撃のスクープでもある。

## 茂木健一郎

脳科学者

「いつになつたらアメリカと対等に物が言える国になるのか——」千葉一夫はそう呻きながら、得意の英語と鋼の信念で沖縄の返還交渉に体当たりで臨む。今、冷徹な態度で政府に突き放され続けている沖縄から見れば、彼のような外交官の存在を知るだけで胸が熱くなる。しかし戦後、優に千人を超える日本の外交官たちがみな千葉一夫のように「アメリカと対等」を搖るがぬ信念として国を牽引してくれていたら、千葉はヒーローとして描かれることはなかったのだ。千葉の発掘は、千葉のような外交官の不在がこの国に長らく続いていることを照射している。

## 三上智恵

映画監督

沖縄返還のために主人公・千葉一夫が奔走した50年前と今。核兵器持ち込み。アメリカのベトナムなどの交戦国への自由出撃。これらは今だにアメリカの「政治的配慮」に委ねられたままである。アメリカの「地位協定」の世界標準では、自由出撃は、その概念すら存在しない。アメリカが何を持ち込むか、何をするかは、全て、受け入れ国の「許可制」である。なぜか？それが「主権」だからである。

## 伊勢崎賢治

「主権なき平和国家 地位協定の国際比較からみる日本の姿」著者  
東京外国语大学 教授

「理想を求めるとして、何の外交でありましょうや——」

1972年5月15日、沖縄返還。  
日本のプライドをかけ  
アメリカと闘った外交官、  
“千葉一夫”を知っていますか？

沖縄返還で外交交渉の最前線にいた実在の人物、千葉一夫。戦後、外交官となった千葉は、本土から切り離され、アメリカの統治下にあった沖縄から核兵器を撤去させ、ベトナム戦争の出撃拠点としないよう、アメリカと激しい外交交渉を重ねた。さらに何度も沖縄に足を運んでは、人々の苦悩に真摯に耳を傾けた。立ちはだかる本土の思惑に挫折しきながらも、妻・恵子に支えられ、「鬼の千葉なくして沖縄返還なし」と称された伝説の外交官が生涯をかけて貫いたものとは——。





## ポレポレ東中野 12:10の回は豪華ゲストによるトークイベント多数開催

6/30(土) 井浦新、戸田菜穂、佐野史郎、石橋蓮司、柳川強監督による初日舞台挨拶

※この回のみ整理番号付きチケットを6/9より販売、完売次第終了。詳細は公式サイトか劇場まで

7/1(日) 西岡琢也 脚本家 × 柳川強 本作監督

7/2(月) 茂木健一郎 脳科学者 × 柳川強 本作監督

7/4(水) 伊勢崎賢治 「主権なき平和国家 地位協定の国際比較からみる日本の姿」著者 × 西脇順一郎 本作プロデューサー  
東京外国语大学 教授

7/5(木) 宮家邦彦 キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 × 宮川徹志 本作原案  
「僕は沖縄を取り戻したい 異色の外交官・千葉一夫」著者

7/7(土) 堀潤 ジャーナリスト × 西脇順一郎 本作プロデューサー

7/9(月) 中島琢磨 「沖縄返還と日米安保体制」著者 × 宮川徹志 本作原案  
龍谷大学法学院教授 「僕は沖縄を取り戻したい 異色の外交官・千葉一夫」著者

※当日、ゲストの変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。※最新のイベント情報は公式サイト・SNSでご確認ください。

公式 HP [www.henkan-movie.com](http://www.henkan-movie.com)

Twitter [@henkan\\_movie](https://twitter.com/henkan_movie)

Facebook [fb.com/henkan.movie](https://facebook.com/henkan.movie)

# 6/30(土)より 全国順次公開!

## ポレポレ東中野

TEL 03-3371-0088

[www.mmpj.or.jp/pole2/](http://www.mmpj.or.jp/pole2/)

JR 東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分

地下鉄大江戸線東中野駅A1出口より徒歩1分

12:10 | 14:30 | 19:00

山手通り  
地下鉄  
大江戸線  
A1出口

JR  
東中野

地下

新宿

6/30(土)公開

6/30(土)公開

7/6(金)公開

7/7(土)公開

7/21(土)公開

愛知

茨城

USシネマつくば  
029-839-5255

千葉

USシネマ千葉ニュータウン  
0476-48-2126

広島

イオンシネマ広島  
082-261-1310

初日、二日目  
舞台挨拶あり!

沖縄

桜坂劇場  
098-860-9555

栃木

名演小劇場  
052-931-1701

7/28(土)公開

8/4(土)公開

8/11(土)公開

8/25(土)公開

8/25(土)公開

11/10(土)公開

栃木

あまや座  
029-212-7531

静岡

静岡シネ・ギャラリー  
054-250-0283

東京

東京都写真美術館ホール  
03-3280-0099

北海道

札幌シアターキノ  
011-231-9355

青森

シネマディクト  
017-722-2068

栃木

宇都宮ヒカリ座  
028-633-4445

近日  
公開

|

【神奈川】横浜シネマ・ジャック&ペティ 045-243-9800

【新潟】新潟シネ・ウインド 025-243-5530

【京都】京都シネマ 075-353-4723

|

【大阪】シネ・リーブル梅田 06-6440-5930

【兵庫】元町映画館 078-366-2636

全国共通鑑賞券￥1,300(税込)絶賛発売中! 【当日一般￥1700のところ】

※劇場窓口にてご購入の方に、特製ポストカードプレゼント!(数量限定)